

一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会

回復期リハビリテーション看護師 認定コース



2020年度開講 第14期 募集要項

問合せ先 一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会 事務局
〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-18-12 内神田東誠ビル 9階
電話:03-5281-8531 FAX: 03-5281-8535 E-mail:kaifukuki@rehabili.jp

一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会 主催
2020年度 回復期リハビリテーション看護師認定コース
第14期 募集要項 (概要)

【下記のとおり第14期を募集いたします。**毎年募集が殺到しますのでお早めに別紙にてお申し込みください**】

目的	回復期リハビリテーション看護師認定コースは、回復期リハビリテーション病棟において、以下の活動を行うことのできる看護師を育成することを目的としています。 ①回復期リハビリテーションサービスの対象者及びその家族に対する質の高い看護の提供 ②回復期リハビリテーション病棟における個人、集団、組織に対するリスクマネジメント ③回復期リハビリテーションサービスにおける多職種との協働とチームアプローチの実践
認定要件及び認定証	次の①～③の要件をすべて満たしている人を回復期リハビリテーション看護師認定コース修了者として認定します。 ①認定コースの全日程に出席し(遅刻・欠席・中抜け・早退は認められません)、レポートの提出により合格の評価を得ること ②出席した研修会に関するレポートを提出すること ③認定コース修了の後、自らの課題を決めて、全研修終了後6ヶ月以内に、本会の会員病院の回復期リハ病棟で行った4ヶ月以上の実践活動についてレポートにまとめ、期日までに提出して合格の評価を得ること ※上記認定要件を満たした者に対して、回復期リハビリテーション病棟協会会長名で認定証を交付します。

募集要項

募集人数 120名：受付は先着順ですが、受講資格についての審査があります。(3月16日(月)より受付開始です。)申し込みいただきました後、順次、看護委員会にて審査をいたしますので受講可否についてのご返答は時間をいただきますこと予めご了承ください。(約1か月ほどお時間をいただきます)また、**できるだけ多くの会員病院様にご参加いただきたく、1病院より2名までの参加とさせていただきます。**

1回6日間の研修を1年間に3回開催、合計18日間の研修を行います。

第1クール 2020年9月14日(月)～9月19日(土)

第2クール 2020年11月2日(月)～11月7日(土)

第3クール 2021年1月11日(月)～1月16日(土)

各日、開講科目によって、開始時間、終了時間共に異なります。

最長で9:00～18:30という講義日程があることをご了承頂きお申し込みください。

会場：三田NNホール 東京都港区芝4-1-23 三田NNビル 地下1階 Tel 03-5443-3233

最寄駅：都営三田線・都営浅草線 三田駅(直結) JR 田町駅(徒歩5分)

応募要件：次の①～⑦の要件をすべて満たしている者

- ①日本国の看護師の免許を有すること
- ②当協会の会員施設に所属していること
- ③看護師の免許を習得後、実務経験が通算5年以上あること
- ④回復期リハビリテーション病棟での看護師としての勤務経験が受講日の時点で原則1年以上あること
- ⑤施設長もしくは上司の推薦があること
- ⑥回復期リハビリテーション看護に対する強い意欲があること
- ⑦全3回(合計18日間)を通して遅刻・欠席・中抜け・早退なく参加できること

注1 文中の「看護師」には准看護師は含まれません

注2 現在、回復期リハビリテーション病棟に所属していること

注3 活動実践レポートは、当会会員病院、回復期リハビリテーション病棟にて実践を行い作成すること

注4 本コースの規約をお読みください

2020年度受講費用：220,000円

* 自己都合によるキャンセルは別規定によるキャンセル料がかかります。当会ホームページ「学ぶ・レベルアップ」のページよりキャンセル規程についてご確認ください。

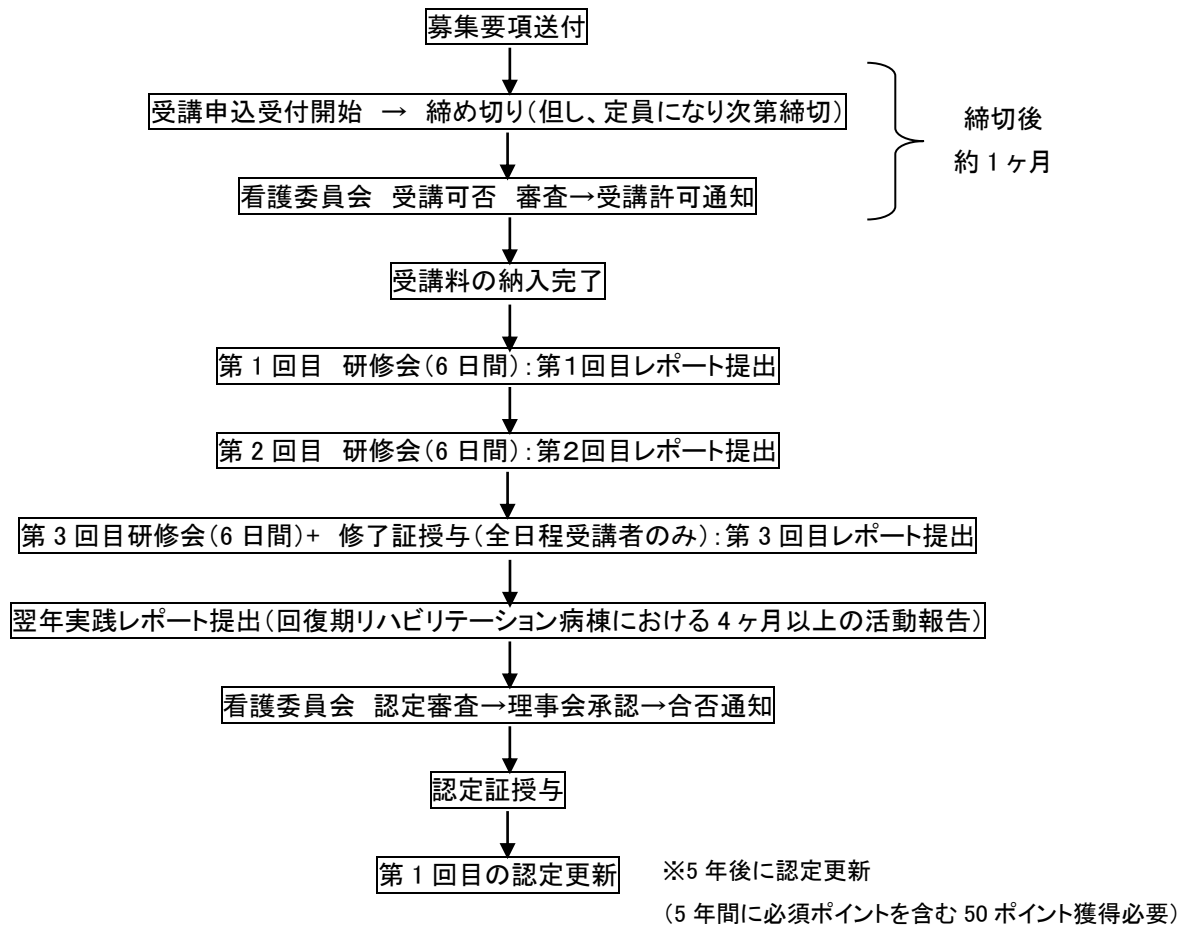
* 18日間の研修受講料・テキスト・お弁当代・終了式・認定証授与式祝賀会費を含みます。但し、交通費・宿泊費等は受講者負担となります。

お申し込みいただく際には下記①②の内容が必要となります。

①受講者は、申込書に「受講の動機」および「認定後の意向(どうしたいと思っているか)」を具体的に記載してください。

②推薦者(施設長もしくは上司)は、推薦書に「認定後の病棟あるいは病院の意向(認定者をどのように活用され、どのように期待しておられるか)」を具体的に記載頂きますようお願いいたします。

参考：回復期リハビリテーション看護師認定コース 認定までの流れ



参考：回復期リハビリテーション看護師認定コース 2019年度13期 講義実績（敬称略・順不同）

※2019年度13期の実績ですので、2020年度は予告なく変更になる場合があります。

講義タイトル	講師	講義タイトル	講師	講義タイトル	講師
回復期リハビリテーション病棟の役割と将来像	三橋 尚志	認知症の理解と看護	橋本 裕	急性期における脳血管疾患の看護	軽部 奈弥子
PT・OT・STの専門性	斉藤 秀之	障害への反応と心の回復過程	粟生田 友子	QOLの考え方と評価	酒井 郁子
回復期リハビリテーション病棟の「看護介護10か条」	猪川 まゆみ	脳血管疾患の理解	内山 真一郎	看護とリハビリテーションの考え方	酒井 郁子
家庭復帰の考え方と社会制度	森戸 崇行	コミュニケーション論	森田 秋子	生活の再構築と自立支援	酒井 郁子
全身管理とリスクマネジメント -回復期リハビリテーション病棟におけるリスク管理-	角田 賢	回復期リハ対象の骨関節系疾患の理解	西村 一志	危機理論とストレス理論	白尾 久美子
リハビリテーション・マインド	石川 誠	回復期リハ対象の骨関節系疾患患者の看護	吉村 洋子	スキンケア	江幡 智栄
安全と抑制	古椎 久美	呼吸器系疾患とリハ	加賀谷 斉	ICFとリハビリ看護	野尻 晋一
地域包括ケアシステム推進に向けた看護職の役割 -医療・介護連携/多職種連携/地域づくりを中心に-	川越 雅弘	いのちを守る口腔ケア	菊谷 武	医療施設における療養環境整備	寛 淳夫
対象者の理解と評価 -身体機能の考え方と評価・ADLの評価-	澤 俊二	人間関係論・対人関係の構築	三沢 良	家庭復帰のための住環境整備 -住み続けるために-	相良 二郎
廃用症候群とリハビリテーション -Stop the immobilization syndromes!	里宇 明元	高次脳機能障がい者の理解と看護	一宮 慎美	チームビルディングのために -明日からできること-	堅田 由美子
脊髄損傷の理解	石原 健	摂食嚥下障害を有した人へのアプローチ	小山 珠美	排泄障害の理解と看護	西村 かおる
脊髄損傷患者の看護	道木 恭子	障害者のリハビリテーションと社会制度	菊地 尚久	教育的関わりコーチング論	北浦 暁子
人体のメカニズム(含演習)	山中 誠一郎	抑うつと理解と看護	久保 博美	臨床倫理 倫理的課題の捉え方とアプローチ	稲葉 一人
	加辺 憲人	回復期リハビリテーション病棟における栄養管理	桐谷 裕美子	家族看護 -リハビリテーション期の家族機能の考え方と評価-	柳原 清子
高齢期を生きる人の支援 -高齢者看護学の役割-	横井 郁子	継続看護と地域連携	山本 詩帆	チームSTEPPS -エビデンスに基づいたチームトレーニング-	渡邊 進

(別紙)

申込日 年 月 日

FAX 03-5281-8535

一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会 行

TEL 03-5281-8531

2020 年度 回復期リハ看護師認定コース 第14期 受講申込書

■ 連絡先	フリガナ		
	病院名		
	病院所在地	〒	
	申込担当者氏名	フリガナ	e-mail
TEL		FAX	
参加者氏名 (直筆) (申込担当者と同じ場合も 記入してください)	フリガナ	役職	

受講資格要件について(はい・いいえに○をしてください。要件を満たさない場合は受講できません)

- | | | |
|---|------------|-----|
| ① 日本国の看護師の免許を有している | はい | いいえ |
| ② 当協会会員施設に所属している | はい | いいえ |
| ③ 看護師の免許習得後、実務経験が受講日(2020年9月14日)時点で通算5年以上ある | はい (年 ヶ月) | いいえ |
| ④ 回復期リハ病棟での看護師としての勤務経験が受講日(2020年9月14日)時点で原則1年以上ある | はい (年 ヶ月) | いいえ |
| ⑤ 施設長もしくは上司の推薦がある | はい | いいえ |
| ⑥ 回復期リハビリテーション看護に対する強い意欲がある | はい | いいえ |
| ⑦ 全研修会日程を通して出席できる | はい | いいえ |

注1 文中の「看護師」には准看護師は含まれません

注2 応募時に、回復期リハビリテーション病棟に所属していること

注3 活動実践レポートは、当会会員病院の回復期リハビリテーション病棟にて実践を行い作成すること

応募理由(受講の動機、認定後の意向)

推薦書	
推薦者	氏名(直筆)
推薦理由	

●2020年3月16日(月)より受付開始です。

●推薦者氏名・役職は、直筆でお願いします。

●看護委員会の審査を経て、受講の可否を事務局から通知いたします。

●FAXでの送信が、記載内容等の都合で適さない場合は、郵送にて送付してください。

